

**木俣修** 歌人、国文学者。<敗戦>直後の第二芸術論による短歌界の危機に正面から取り組んだ。

きまたおさむ

満鉄発足・・・1906 = 滋賀県生れ。

**明治天皇没**・1912 = 6歳：

21ヶ条要求・1915 = **9歳**：

\_\_小学校のころから{赤い鳥}に自由詩、自由画などを投書。

**原敬首相暗殺**1921 = 15歳：

護憲三派圧勝1924 = **18歳**：

共産党事件・1928 = 22歳：\_\_北原白秋を訪ねて、その門に入る。

**満州事変**・・・1931 = 25歳：東京高等師範学校卒、

宮城県師範学校、旧制富山高等学校、昭和女子大学、実践女子大学の教授を歴任。

国際連盟脱退1933 = **27歳**：

芥川直木賞始1935 = 29歳：\_\_{多磨}の創刊に参画し、

**日中戦争始**・1937 = 31歳：

**日米開戦**・・・1941 = 35歳：

・・・1942 = **36歳**：歌集「高志」。\_\_白秋の死去後は、上京してその編集に当たる。

**敗戦**・・・1945 = 39歳：

新憲法公布・1946 = 40歳：「白秋研究」。この年、\*桑原武夫が打ち出し、俳句短歌界をゆるがすことになる「第二芸術論」に、短歌雑誌「**八雲**」の顧問として、正面からとりくみ、短歌を今日の文学とすべく努め、

極東裁判決・1948 = 42歳：歌集「冬暦」、

**独立回復**・・・1951 = **45歳**：歌集「流砂」、

テレビ放送始・1953 = 47歳：\*人間主義的な立場にたつ歌誌{形成}を創刊して主宰。

**55年体制始**・1955 = 49歳：歌集「落葉の章」、

美智子妃・・・1959 = 53歳：\*以降、新年歌会始選者、宮内庁御用掛。

**安保闘争**・・・1960 = **54歳**：

**東京リトル・ツキ** 1964 = 58歳：歌集「呼べば罌」、研究書「昭和短歌史」。

美濃部都知事1967 = 61歳：\_\_文学博士。

全共闘・・・1969 = **63歳**：

**ドルショック**・・・1971 = 65歳：「大正短歌史」「近代短歌の史的展開」など、著書は研究書、評論、随筆から児童文学まで数十冊に及ぶ。

**石油ショック**1973 = 67歳：紫綬褒章、

角栄金脈辞任1974 = 68歳：歌集「愛染無限」。\_\_芸術選奨文部大臣賞。

成田衝突・・・1978 = **72歳**：

革新大敗北・1979 = 73歳：勲三等瑞宝章。

**中曽根内閣**・1982 = 76歳：

ディズニースト 1983 = 77歳：\*日本芸術院賞恩賜賞。没した。